



* CONTENTS *

- 次世代に期待／恐竜・哺乳類化石を生かしたまちづくり…p2・p3
- 森あそびのススメ／丹波青少年本部からのお知らせ…p4
- 生活創造ニュース(たんば.COM)／くらしあんしん…p5
- 丹波年輪の里／丹波並木道中央公園…p6
- ささやまの森公園／丹波の森情報…p7
- お知らせ／森のクイズ…p8

次世代に期待



丹波の森公苑長
丹波の森研究所長
中瀬 勲

大阪府立大学農学部の手先採用していただいたのは、40年前の昭和47年（1972年）4月のことでした。当時は、採用の儀式もなく、ただ、辞令が連絡用のポストに入っていただけだったと記憶しています。それ以来、19年間にわたりランドスケープの教育・研究活動に従事していました。

縁があつて、今の職場である人と自然の博物館に呼んでいただいたのが、平成2年（1990年）のことでした。思い返しますと、ゼロから博物館を立ち上げ、運営するという願ってもない機会に恵まれたのです。紆余曲折はありましたが、今では、人と自然の博物館は、日

本の博物館のあるべき姿の一方向をリードするところまで来たものと自負しています。平成24年（2012年）11月には、秋篠宮殿下のご来館のもと、20周年記念式典を盛大に催すことができました。

兵庫県博物館で働きたしてから、博物館での活動に加えて、丹波、但馬、淡路など、県下各地で、実践的な地域づくり活動に参加する機会をいただくことができました。県下各地の方々とは何回も議論を重ね、積み上げてきた丹波の森構想をはじめ、コウノトリの郷公園、丹波並木道中央公園、有馬富士公園、国見の森公園、いなみ野ため池ミュージアム・・・多くの思い出が詰まっています。兵庫県の懐の深さを感じると共に、現場での実践的活動の重要性を確認することができました。


今、団塊の世代と称された私達は、退職の時期を迎えています。人と自然の博物館では、2012、


2013年度で、団塊の世代の研究員が、多く退職することになっていきます。まさに、世代交代の重要な時期に差し掛かっているものと思います。私達団塊の世代は、後輩を十分に育成してきたのかという疑問に駆られる時があります。

翻つて、丹波を考えてみますと、森構想から20年余が経過し、多くの人材が成長し、活躍されている状況があります。加えて、地域活動、ボランティア活動、NPO活動などで、高齢者の方々とともに、若い世代の活動がみられます。


これからは、地域づくりや活性化を担う若者、子ども達の学習と成長を支援する試みがますます重要になると思います。恐竜や哺乳類化石の発見も、大いに追い風になるものといえます。豊かな自然、歴史、人情の丹波を、持続的にマネジメントできる人材の育成を期待しています。


恐竜・哺乳類化石を活かしたまちづくり


 ふくろう爺さん、今日は恐竜化石を活かしたまちづくりについてお話して。

 約6年前、丹波市山南町の川代溪谷で、恐竜の化石が発見されて話題になった。それから、篠山市、丹波市にまたがる篠山層群で数種類の恐竜化石や哺乳類、カエルなどの化石が発見されたぞ。

 学校で習ったわ。

 人が住む里で、いろいろな種類の化石がまとまって発見されたことが特徴じゃ。

 1億年も前に生きていた恐竜の化石が見つかるって、すごいわ。

 丹波地域は、四季折々の自然や食べもの、寺・神社や古い街並みがあって、住みやすく、都会からも近いなど、もともと恵まれたところ。恐竜の化石は、新しい「神様からの贈り物」かのう。

ところで、恐竜化石を活かしたまちづくりって、どういこと？

そうじゃ。恐竜や化石は自然・環境を学ぶ材料になる。観光にも活かせる。恐竜にちなむ特産品もできる。「神様からの贈り物」を活かして、もっと魅力的な地域にしましょうというこことじゃ。

そんな地域はほかにあるの？

豊岡市のコウノトリの郷づくりが見本になるのう。絶滅しかけたコウノトリが棲める環境をつくろうと、農薬を使わない米づくりなどと、みんなが力を合わせた。そうしたら、コウノトリの郷づくりが地域全体の活動になり、米や野菜も安全だと評判になった。郷づくりは日本中に知られるようになったぞ。

恐竜や哺乳類の化石もそうなればいいわ。ところで恐竜化石を活かしたまちづくりはどんなことをしてきたの？

丹波市や篠山市では、恐竜や化石に親しんでもらおうと、資料館や展示室を整備したり、副読本をつくった。

お母さんと一緒に見たわ。

発見地では、化石の発掘体験やガイドによる説明、物産販売なども行っている。恐竜化石を広く知っ

てもらおうと、兵庫県や人と自然の博物館が中心になって国際シンポジウムも開催してある。

いろいろやっているのね。

60団体が参加する「たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会」(事務局・兵庫丹波の森協会)では、ホームページや恐竜マップの作成、恐竜カルタの募集、人材セミナーの開催などを行ってきた。

ところで、恐竜化石を活かしたまちづくりは、うまくいっているの？

推進協議会の活動により、神戸や大阪あたりでたんばの恐竜の話をする、「知ってる」と言う人は多いぞ。化石の発掘体験は子どもたちにも大人気じゃ。これらはみんな、いろいろな人の取り組みの成果じゃ。



丹波化石発見地付近 (元気村かみくげ)

すごいわ。

ただ、丹波地域全体の取り組みになっているとは言えんのう。恐竜がコウノトリのように、身近で親しみやすいものでないこともあるかのう。

ちょっと残念だわ。

いやいや、恐竜化石の発掘や研究にながーい時間がかかるように、恐竜化石を活かしたまちづくりも、これからじゃ。

これから、どんなことをしたらいいの？

たとえば、篠山と丹波をつなぐ篠山川一帯を自然や環境について親子で学び・体験できるゾーンにできんかのう。恐竜を題材にした丹波地域ならではの特産品もいろいろできそうじゃ。

夢がふくらむわ。

爺も頑張らんとな。わし(鳥)は恐竜の子孫じゃからのう(笑)。

そうだったわ(笑)。わたしも恐竜をもっと好きになり、「神様からの贈り物」をどう活かせるか考えらわ。

プロフィール

たんちゃん

丹波地域に住む、小学4年の元気な女の子。恐竜はちょっとこわいけど、神様からの贈り物だとわかり、少し好きになってきた。

ふくろう爺さん

丹波の森に長く棲み、丹波地域のまちづくりを見つづけてきた長老のふくろう。恐竜の末裔として、恐竜化石を活かしたまちづくりにも責任を感じている。

地域づくりは、地域の課題の解決と望ましい将来像の実現にむけて、地域の資源(人・モノ・カネ・情報など)をいかして持続的に取り組むことです。兵庫丹波の森協会/丹波の森研究所は、支援が必要な地区の勉強会や計画づくりなどに研究員がかけたり、ご相談に応じます。恐竜化石を活かしたまちづくりへの質問や提案を含め、ご連絡は次へ

TEL/FAX/ONS-13-0666(山本)
E-mail:mori-kenkyu@tanba-mori.or.jp

森あそびの ススメ

—虫によってつくられる—
虫こぶ

丹波の森公苑はオオムラサキの観察やどんぐりの採集などで年間約3000名の来苑者があります。クヌギなどの葉にできた丸い物体をみて「これなに？」と尋ねられることが多くあります。植物の「こぶ」は、ゴールとよばれ、虫だけでなくウィルスや細菌や菌類などによってもつくられ、その形成生物の何らかの刺激によってその部位の細胞または組織が異常肥大・増殖または委縮・発育不良したりする状態をいいます。

今回はどんぐりの王様クヌギに虫によってつくられる虫こぶ（虫瘿とも呼ばれる）を紹介します。



虫こぶの名前：クヌギハマルタマフシ
形成者の名前：クヌギハマルタマバチ



虫こぶの名前：クヌギハナカイメンフシ
形成者の名前：クヌギハナカイメンタマバチ



虫こぶの名前：クヌギエダイガフシ
形成者の名前：クヌギエダイガタマバチ

虫こぶの名前の付け方

虫こぶの名前に規則性があることに気がつきます。

[植物名]+[植物の作られる部位]+[形の特徴]+フシ（虫こぶ）

クヌギハナカイメンフシというのは植物＝クヌギの、部分は＝ハナに、形の特徴＝カイメンのような、フシ＝虫こぶ

クヌギエダイガフシ＝クヌギの枝にイガに似た虫こぶと言うことになります。しかしこの原則にしたがって命名されているとは限らないものもあります。エゴノマコアシとかササウオフシのように古くから慣用名が用いられているものもあります。

山や野で植物の不思議なこぶを見て楽しんで下さい。

参考「虫こぶハンドブック」「樹木の虫こぶ図鑑」「奇妙な植物：虫えい」

丹波青少年本部からのお知らせ

ひょうご子ども・若者応援団

～青少年活動団体と、企業をつなげます～

地域の青少年団体の活動を応援して下さる、企業・社会奉仕団体を募集しています。私たちと一緒に、「ひょうご子ども・若者応援団」としてつながり、輪を広げてみませんか？子どもたちの活動に、力を貸してください。

- 創造力・想像力を育む活動資材の提供（紙、紐、ロープ、木材、端材、端布など）
- いつもの活動より、ちょっと嬉しい（食品、お菓子、飲み物、文房具など）
- ふだんはできない体験を（工場見学、昔遊びや手品・工作などの講師）



◆お問い合わせ：丹波青少年本部 TEL0795-72-5168



県民交流広場が集う「コミュニティアワード2012」開催

県民交流広場では、地域のみなさんが主体となって
様々な手づくりのコミュニティ活動が展開されています。

県内各地の県民交流広場が集まり、全県レベルでノウハウや課題を共有し、意欲を高める交流の場として「第3回地域コミュニティアワード2012」が県立淡路文化会館で開催されました。丹波地域からは篠山市の古市地区まちづくり協議会と日置地区まちづくり協議会が、丹波市の葛野徳徳自治振興会が参加し、各広場での活動内容の紹介や丹波黒大豆枝豆、丹波栗などの試食・販売が行われました。

また、広場同士の交流を図る広場座談会では、都市と農村の交流や地域資源の開発、地域と企業との連携などについて活発な意見が交わされました。

活動事例紹介

篠山市古市地区

「地域を知り語り合う」をテーマとして、「知る」(見る 識る見知るマップの作成・集落探訪)、「学ぶ」(ふるい ち塾)、「集う」(文化活動発表会・グラウンドゴルフ大会)、「広げる」(会報・マップ配布)をキーワードに住民参加によるまちづくりを展開しています。



丹波市葛野地区

「都市と農村の交流によるのどかなかどの郷づくり」を活動目標として、遊休農地を活用した貸農園の提供や里山を利用した椎茸の栽培、カブト虫の繁殖などを通じて都市との交流を推進するとともに、子ども達が地域への愛着を深められる事業を展開しています。



健康食品の悪質な電話勧誘販売

相談事例

知らない業者から「注文頂いた健康食品を送ります」という電話があった。相手は高齢の母が注文したと言うが、母に確認をすると頼んだ覚えは無いと言う。その旨を伝えると「注文を受けてから製造しているので断ることはできない」と言われた。送ってこれたらどうすればよいか。

50歳代：女性

アドバイス

[アドバイス] 注文をした覚えがないと断ったにもかかわらず、一方的に健康食品を送りつけられる相談が寄せられています。ターゲットは、主に高齢者です。このような電話があった場合には、「注文をしていないので、商品は送らないでください。今後の勧誘もお断りします」ときっぱり断ることで、断っているのに送りつけられた場合は、受け取り拒否をしましょう。代引き配達の場合は、お

金を支払わないよう気を付けてください。また、断り切れず承諾してしまった場合でも、クーリング・オフが可能です。困ったときは、消費生活センターにご相談ください。

出前講座実施中 (費用無料)

職員が自治会や老人会などの集会に出向いて、わかりやすく事例を紹介しながら、悪質商法等の被害防止を呼びかける「出前講座」を行っていますので、ぜひご利用ください。

丹波消費生活センター
(丹波の森公苑内)

TEL(0795)72-0999
FAX(0795)72-0899

木クラフトの拠点 丹波年輪の里

第9回

たんば はがき絵展



昨年度大賞作品

平成25年2月9日(土)～2月24日(日)

「たんば」にちなんだ風物・自然・祭りなどを題材にしたはがき絵の公募展

入賞・入選作品を含む全応募作品を展示します。

座っ展2013 —丹波で生まれた木の椅子—



平成25年4月28日(日)～5月6日(月)
丹波で活動する木工家十数名が制作した木の椅子が年輪の里に集まります。
見て、座って、木のぬくもりを実感してください。

丹波 木づくり・手づくり市

平成25年5月3日(金)4日(土)(予定)

大丹波地域のものづくり作家たちによる手づくり市。木工、陶器などなど。お気に入りの手づくりの一品を見つけないでください。

※ゴールデンウィーク期間中は、他にも楽しいイベントを開催予定です。

春の木木市 5月中旬予定

丹波市内の製材所等からDIY向けの端材が大集合!掘り出し物があるかも?!

第26回

丹波の森 ウッドクラフト展

(木のおもちゃ大賞展) 作品募集

丹波の森ウッドクラフト展は
木工クラフトの全国公募展です。

木のぬくもりあふれる「おもちゃ」を募集します。

(ジュニアの部はおもちゃに限定しません)

一般の部:平成25年7月1日～8月14日消印有効

ジュニアの部:平成25年7月1日～9月14日消印有効

主催・丹波の森ウッドクラフト展実行委員会

http://nenrin.org/w_craft/

一般の部
グランプリ賞金
50万円!

お問い合わせ先

選べる楽しいクラフトメニューをはじめ、小さなアクセサリから木のおもちゃ、家具作りまで、工具や材料をご用意してスタッフ一同皆様のお越しをお待ちしています～

みんなの工作室 丹波年輪の里

〒669-3312 兵庫県丹波市柏原町田路 102-3

TEL.0795-73-0725 FAX.0795-73-0727

URL <http://nenrin.org/> E-mail:mail@nenrin.org

開館時間 9:00～21:00 (工作受付は16:00まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)

入館無料

工作室使用料一般100円、中学生以下50円(材料費別途要)

団体貸切要予約



兵庫県立

丹波並木道中央公園



公園のイベント

■ノルディックウォーキング: 毎月1回程度開催

■花と緑の教室: 毎月1回開催

■木工教室

大人の木工教室 毎月第1土曜日、

毎月第3土曜日

10時～15時

子どもクラフト 毎月第3土曜日

13時30分～15時

*親子活動などでの団体受付は随時

■プリザーブドアレンジメント:

年に4回程度開催

■雪遊び: ソリ貸出あり(雪の日のみ)



木の万華鏡(子どもクラフト)

その他イベント盛りだくさん!

詳細は公園のHPまたは、
広報紙「PARK LIFE」をご覧ください。



自動車: 舞鶴若狭自動車道「丹波篠山口I.C」から約5分

電車: JR福知山線「丹波大山駅」から徒歩10分

公園サポーター募集

公園づくりの仕事をお手伝いしていただく

「お助け隊」を募集します。

木工サポーター: ベンチや椅子などの木工品の作製

花壇サポーター: 公園での花壇づくりのお手伝い

詳細はお問い合わせください。

兵庫県立丹波並木道中央公園

〒669-2221 兵庫県篠山市西古佐 90 番地

TEL 079-594-0990 / FAX 079-594-0991

駐車場利用時間: 8時～17時30分

入園料、駐車場とも無料

HP <http://www.hyogo-park.or.jp/tanba/>

BLOG <http://namikimichipark.blog.fc2.com/>

Twitter [namiki_michi](https://twitter.com/namiki_michi)

兵庫県自然活用型野外CSR事業

ささやまの森公園

平成25年
3月23日(土)
河合雅雄先生講演会
13:30~15:00
演題：野生のゴリラに突き
つばされて
～霊長類学の夜明け～



平成25年
4月14日(日)
春の里山まつり
10:00~15:00
内容：木工クラフト
餅つき
森のバザー ほか



定例プログラム

平成25年1月～6月

1月

- ・チェーンソー講習会
- ・冬越し昆虫を探そう ほか



2月

- ・黒豆のお味噌を作ろう
- ・シカ肉料理を作ろう ほか



3月

- ・草木染め教室
- ・こんにゃくを作ろう ほか



5月

- ・深山登山
- ・バードウォッチング ほか

6月

- ・モリアオガエルと
ホタルの観察会
- ・料理教室 ほか

ささやまの森公園 〒669-2512 兵庫県篠山市川原511-1 TEL079(557)0045/FAX079(557)0201
URL:<http://www.sasayamanomori.jp/> E-mail:csr@sasayamanomori.jp

丹波の森情報

ホームページ等でもお知らせします。 <http://www.tanba-mori.or.jp/>

1 丹波OB大学・大学院の受講生募集



- 募集講座 ①4年制大学講座(定員60名)
②地域活動実践講座(2年制、定員30名)
- 対象 概ね60歳以上で丹波地域在住者
- 受講料 年間12,500円
- 受付期間 平成25年1月29日(火)～3月15日(金)(先着順)
- 問合せ先 丹波の森公苑文化振興部

2 丹波合唱講習会



- 日程 平成25年3月10日(日)13時～16時
- 場所 丹波の森公苑多目的ルーム
- 内容 講習曲をもとに合唱の指導を行う。
〔講習曲〕・木を植える・夜明けから日暮れまで…震災に
- 講師 豊中混声合唱団 音楽監督・常任指揮者 西岡 茂樹
- 入場料 大人300円、高校生150円

3 第36回 丹波の森新春書き初め展



- 日程 ①平成25年 2月1日(金)～3日(日)
②平成25年 2月8日(金)～10日(日)
- 場所 ①丹波の森公苑多目的ルーム、創作工房
②篠山市四季の森生涯学習センター東館
- 内容 丹波地域の小、中、高等学校、養護学校、特別支援学校の児童生徒と一般の方の書道作品を展示します。
※一般の方のみ出品料2千円が必要です。

4 展示ギャラリーの利用案内

森公苑内の入口横にある展示ギャラリーでは、絵画、写真、彫刻などの作品を無料で展示できます。ご利用下さい。

- 利用期間 休園日を除く12日以内
- 利用時間 9時～17時

※展示期間中は、隣接の喫茶スペースを体験コーナーとして利用できます。



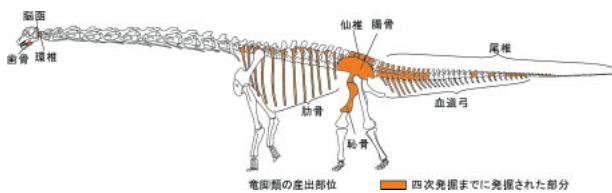
5 丹波文化団体協議会による作品展示コーナー

丹波文化団体協議会(会長 藤井恒弘)のご協力により、作品を展示しています。正面玄関の生け花、2階渡り廊下での作品鑑賞をお楽しみ下さい。



「丹波の恐竜関連イベント」 参加者募集

- 平成25年3月16日(土)
国際シンポジウム「白亜紀前期の恐竜研究最前線」
10:00-16:00
会場／県立人と自然の博物館
丹波で発掘された恐竜の世界を、海外の研究者とともに探ります。同時通訳あり。
 - 平成25年3月17日(日)
サイエンスカフェ「篠山層群の化石から白亜紀の生き物を復元する」 10:30-12:00
会場／ちーたんの館（丹波市山南支所内）
恐竜化石を活かした地域づくりフォーラム
13:00-16:00
会場／山南住民センター
- ※申込など詳細はホームページをご覧ください。
<http://hitohaku.jp/>



【お問い合わせ】

県立人と自然の博物館 079-559-2003
たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会
(事務局 兵庫丹波の森協会) 0795-73-0933

第22回「ウィーンの森親善訪問の旅」募集

- 今年、ウィーン13区と友好親善協定を交わして記念すべき20周年にあたります。ウィーンの森をはじめ世界遺産のザルトブルグなどを訪れます。
- 期間 平成25年7月4日～13日 10日間
 - 旅行代金 348,000円(2名様1室利用お一人様料金)
※燃料サーチャージ・空港税等は別途必要となります。
 - 募集人員 30名(最少催行人員20名)
 - 申込締切 平成25年5月2日(木)
ただし、定員になり次第締め切ります。

第23期「丹波の森大学」受講生募集

将来の丹波地域を創造するための講義や、先進地の視察を実施します。

- 定員 100名
 - 受講料 10,000円
 - 受講期間 平成25年6月～12月
- ※詳細については別途ご案内します。



丹波の森公苑をご利用ください。

丹波の森公苑では、ホールや会議室、グラウンドやテニスコートなどの施設をご利用いただけます。グループ活動や研修などにご利用ください。



開苑時間 9時～22時
(グラウンド、テニスコートは17時まで)
休苑日 月曜日(祝日の場合はその翌日)

使用料など詳しいお問い合わせは、丹波の森公苑総務企画課へ。ご利用をお待ちしています。

TEL(0795)72-2127(代)
ホームページアドレス
<http://www.tanba-mori.or.jp>

好評
発売中

丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし

兵庫丹波の森協会または下記取扱所でお買い求めください。

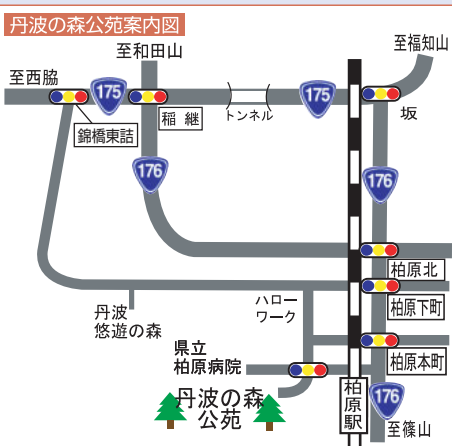
篠山市内 小山書店、森本書房、黒豆の館、新たんば荘、王地山公園ささやま荘、篠山観光案内所、四季の森生涯学習センター(篠山市立中央公民館)・城東公民館

丹波市内 いちじま丹波太郎、道の駅「丹波おばあちゃんの里」、さんなん観光案内所、かいばら観光案内所、あおがき観光案内所

【お問い合わせ】兵庫丹波の森協会 Tel.(0795)73-0933



語りベ研修会 篠山市立味岡小学校



(公財)兵庫丹波の森協会
丹波の森公苑

〒669-3309
丹波市柏原町柏原5600

Tel.0795-72-2127
Fax.0795-72-5164

<http://www.tanba-mori.or.jp>

E-mail:morikoen@hk.sun-ip.or.jp

印刷 ウニスガ印刷株式会社

森のクイズ

大部分の昆虫は変態します。それぞれ都合のよい形態(形)で越冬します。

下記にあげた昆虫は、幼虫がニレ科工ノキ属を食草としていますが、名前と越冬の形態で間違っているものを選んで下さい。

- ①オオムラサキ：幼虫 ②テングチョウ：成虫
③ヒヨドシチョウ：幼虫 ④ゴマダラチョウ：幼虫

正解者には抽選の上、協会から記念品をプレゼントします。
クイズの答えと住所、氏名、ご意見などを書いてハガキで事務局までお送りください。(〆切2月28日)